※令和３年度以前入学生用

学校番号	3038

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	35 清水　政経 314　「高等学校　現代政治・経済　新訂版」　（清水書院）						
副教材等	最新図説　政経（浜島書店） 改訂版４ステージ演習ノート　政治・経済（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本そして国際社会が直面する政治・経済面の諸課題について、多面的・多角的な視点から分析する力を身につける。課題解決のための複数の政策から最良の案を選択する力を身につける。
・課題などは期限を守り、復習や試験勉強は計画を立てて取り組むようにしましょう。

２　学習の到達目標

広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深め，現代の政治，経済，国際関係を客観的に理解する。また、現代社会の諸課題を主体的に考察し，良識ある公民にとって必要な判断力を涵養する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の、経済分野をはじめ政治、国際分野の諸課題への関心と問題意識を高めるとともに、主体的かつ客観的に解決策を導出する意欲を持つ。	現代社会の経済分野を中心に政治、国際分野の諸事象・克服すべき課題の原因や背景を広い視野に立って多角的に考察し公正な立場で表現している。	政治・経済分野の資料・データを多様なメディアから収集、選択し、分析できる。	現代の政治・経済の理論や現代社会の諸課題に関する基本的事柄を理解する。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	民主政治の基本原理	・人権保障の発展と現代社会 ・国民主権と民主政治の発展	○	○	○	○	a:人権思想と近代国家の発展の歴史に関心をもち、人権尊重の視点から、民主主義における人間の在り方について考察している。 b:近代政治と人権保障の歩みを理解し、国民主権・権力分立などの原理と政治制度の多様性を見出している。 c: 近代民主政治の歩みと歴史的宣言文書を通じて、民主主義の原理の形成過程をとらえている。 d: 近代人権思想の歩みと近代民主主義国家の政治原理、現実の政治機構との関わりをとらえている。	定期考査 ワークシート
1学期	日本国憲法における国民主権、平和主義、基本的人権の尊重	・日本国憲法の成立 ・平和主義と日本の安全 ・基本的人権の保障 ・新しい人権	○ ○ ○	○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:憲法の基本原理を理解し、日本の防衛問題や人権問題に関心をもち、政治の主体としての自覚をもつ。 b:事件や判例を、人権保障の観点から思考し、人権が衝突した時に公正に判断し、自分の意見を表現する。 c:憲法の平和主義と日本の防衛問題との関連、憲法の人権規定と現実の人権問題との関わりをとらえている。 d:国民の基本的人権と国家の基本的な制度的枠組みを定めた最高法規として憲法があることを理解する。	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

1学期	日本の政治機構	・国会のしくみと機能 ・内閣のしくみと機能 および行政機能の拡大 ・裁判所のしくみと機能 ・地方自治 ・選挙制度と政党政治 および現代政治の課題	 ○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:司法制度への市民参加の制度を学ぶことを通して、人権尊重の意識を強くもつ。 b:政党政治や選挙に着目し、政治のあり方や主権者としての政治参加について、価値観の多様化などの社会の変化を踏まえて公正に判断する。 c: 数的資料を活用して、現代政治の課題を見つけ、解決策を探る。 d:統治機構や政治制度の知識を身につけることで、より民主的でより人権が保障される仕組みを考えられるようにする。	定期考査 ワークシート
1学期	国際政治の動向	・近代の国際社会の成立とその変容 ・安全保障と国際連合 ・冷戦期の国際政治と現代の国際社会の課題 ・核兵器と軍縮 ・基本的人権と人種・民族問題 ・国際社会のなかの日本と日本の領土問題	○ ○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:国際政治の動向に興味関心をもち、人種民族・軍縮問題の現状をとらえ、その諸要因を意欲的に追及する。 b:日本の未解決の領土問題について、日本が正当に主張している立場を踏まえ、平和的手段による解決を図っていることを考察する。 c: 国際政治年表や国際紛争と地域安全保障の地図を活用し、国連に求められる役割と新しい秩序の理念について理解する。 d: 戦後国際政治の動向と国際紛争との関わりを理解し、国際組織が紛争解決に果たす役割をとらえる。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

2学期	現代の経済	経済活動の基本概念 経済主体と豊かさの指標 経済成長と景気変動 経済体制論 市場機構 企業の役割 物価の動き	○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:経済事象、効率と公平といった概念に関心をもっている。 b:経済学の初歩的な理論を身近な生活と関連させて考えている。 c:経済主体の相互関係を読み取る。需要・供給曲線の読み方を身につける。インフレ率の経年変化のグラフから年代の特徴を読み取る。 d:経済主体の特色と相互関係を理解している。フローとストックの概念とその算出法、社会主義経済と資本主義経済の相違、ケインズの経済学と新自由主義の経済学の対立点、市場機構と市場の失敗の概念および対策、寡占市場の現状、インフレとデフレの影響などを理解している。	定期考査 ワークシート
2学期	金融と財政	金融のしくみとはたらき 財政のしくみとはたらき	 ○	○ ○	○ 	○ ○	a:金融・財政の仕組みや機能、現実の政策に関心がある。 b:金融・財政に関する今日的問題について理解し、どのようにすれば、よりよい経済政策が実現するか考えている。 c:信用創造の資料から銀行の役割を知る。国家予算・国債残高・プライマリーバランスといった資料から日本の財政の現状を読み取る。また消費税・所得税の課税方法からその特徴を知る。 d:金融・財政の基本的な理論を身にそなえたうえで景気対策の手段とその課題を理解している。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

2学期	日本経済のあゆみと現状	日本経済の変化 中小企業問題 環境問題 資源・エネルギー問題 消費者問題 農業問題	○	○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:戦後日本の経済の歩みに関心があり、そのなかで中小企業・環境・消費者・農業の諸問題への探求心を持つ。 b:戦後日本経済の各段階を画する事件や背景をよく考え、国際経済に占める日本の役割についても思い至っている。日本経済の克服すべき諸問題の解決策を提示できる・ c:戦後の日本の経済成長率、食料自給率、産業別国民所得など経済データを読み取る。またリサイクルに関する法律・悪質商法の手口を資料から読み取る。 d:日本経済史上の主要な事件や政策の内容と学問上の評価を把握している。また既習の経済理論と照応できる。さらに高度経済成長が招来した諸課題の経過・内容を整理できる。	定期考査 ワークシート
2学期	労働と社会保障	労働基本権と労働運動 今日の労働問題 社会保障制度の歩みと現状	○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:労働基本権の考え方・社会保障制度の仕組み・今日の労働問題・少子高齢社会について考えようとしている。 b:非正社員、ニート、外国人労働者、高齢者、年金のなどの問題の所在について意見をまとめている。 c:社会保障の負担と給付、賃金・労働時間の国際比較などの指標を読み説く d:労働基本権の意義と現状、近年の雇用問題、社会保障制度の内容と改革の方向性などへの理解を深めている。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

３学期	世界経済と日本	国際分業と貿易の利益 外国為替と国際収支 グローバル化と国際経済 南北問題・南南問題 国際経済における日本の役割	 ○	 ○ ○ 	○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:自由貿易が与える影響をはじめ世界経済の動向と日本果たすべき役割について関心をもつ。 b:比較優位の理論とそれへの批判を通して貿易の在り方やグローバリゼーションの光と影を整理できる。日本が世界経済の諸問題の解決にどう寄与できるか考察している。 c:比較優位の説明資料・国際収支表の分析に習熟する。地域経済統合の前後の貿易の変化を資料から理解する。 d:比較優位の考え方を説明できる。国際収支表の分類に関して具体例を挙げて説明できる。為替レートの決定要因とレート変化の影響を正しく理解している。地域経済統合、主要諸国の経済の動きを整理し理解している。南北問題・南南問題の構造や背景を理解している。	ワークシート
３学期	現代社会の政治・経済の諸課題	国内の人権・平和主義・統治機構に関する諸問題 格差問題、人種・民族問題 ＜上記を主題学習で実施＞	○	○	○	○	a:国内外の人権・平和・経済格差などに関する動きに関心を持つ。 b：左の諸問題の原因と対策を広い視野で考察する。 c：新聞など多様なメディアからの情報を選択し分析する。 d：諸問題に関する基礎的理解を獲得している。	ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※令和３年度以前入学生用